

腹栄中学校 (松永 光親校長)

1年生	63人
2年生	55人
3年生	65人
計	183人



▲第一学習社賞を手にする体育委員長の宮本祐成さん



▲腹栄中学校ならではのユニークなクラスマッチ

「第32回毎日カップ中学校体カつくりコンテスト」で 第一学習社賞を受賞！

腹栄中学校は、毎日新聞社が主催する「第32回毎日カップ中学校体カつくりコンテスト」で、最高賞の次の賞にあたる第一学習社賞を受賞した。

昭和62年から行われているこのコンテストは、「体力づくり」の実践を通して「たくましく生きる力」の育成に取り組み、成果をあげている学校を表彰している。

ことしのコンテストには、全国から約4,200校の応募があった。

子どもたちのエネルギーを 体力づくりに

腹栄中学校が、本格的に体力づくりへの取り組みを始めたのは、土田健史教諭が赴任してきた平成26年から。

「体力・耐力・能力」の向上を掲げ、陸上の記録などさまざまなデータを揭示し、生徒たちのやる気を高めた。また、先生主導ではなく生徒たちが自ら考え行動し、挑戦意欲を持たせた結果、新体力テストの11種目の全てで男女とも全国、熊本県平均を上回るといった成果が表れた。「データを揭示したことでやる気や自信につながり、一生懸命取り組んでくれた生徒たちの頑張りのおかげです」と土田教諭は生徒たちをたたえた。

生徒たちのアイデアを 授業に取り入れる

全校生徒が参加するクラスマッチ。球技を中心としていた今までは違い、本年度はリレーを開催した。全校生徒が楽しめるようにと体育委員が試行錯誤のすえ考え出したのが、それぞれが所属する部活動で使用する用具を持って走ることに。ただ走るのではなく、サッカー部ならサッカーボールをドリブルしながら、バレー部ならトスをしながらという特徴的なリレー。用具次第では有利不利があるものの、ユニークなリレーを楽しむ生徒たちの声がグラウンドに響いていた。

さらなる高みを目指し

生徒たちの自主性を生かした取り組みで成果を上げてきた腹栄中学校。体育委員長の宮本祐成さんは「体力づくりコンテストの全国表彰式にも参加し、第一学習社賞という賞を頂いて『上には上がいるな!』ということを改めて実感しました。腹栄中学校のみならずつかみ取れた賞なのでみんなに感謝したいし、さらなる『頂』に挑戦してほしいと思います」と、共に頑張ってきた仲間たちへ熱いエールを送った。